

## 主題：天の王国の実際の中に生きる

### メッセージ 1

命の感覚にしたがって、わたしたちの霊の直覚により、神の直接の支配の下に生きる

聖書：ヨハネ 3:3, 5, 15. I コリント 2:11. エペソ 4:18. ローマ 8:6

#### I. 神の王国は神ご自身です——マルコ 1:15. マタイ 6:33. ヨハネ 3:3 :

- A. 神の王国は神をその内容としています。神ご自身は彼の王国の内容としてすべてです——I コリント 4:20. 15:28。
- B. 神は命であり、その命には神聖な命の性質、能力、形があります。それは神の支配の領域を形成します——エペソ 4:18. ヨハネ 3:15。
- C. 神の命は神の王国であり、またわたしたちが神の王国の中へと入ることで。わたしたちはこの基本的な原則を見なければなりません。—— 3, 5, 15 節。
- D. 神の王国の性質は神聖です。なぜなら、それは「神」の王国であるからです。
- E. 実際に、神がわたしたちを支配することは、外側の事柄ではなく、神聖な命の本来の能力の事柄です——ローマ 8:2。

#### II. 神の王国は神聖な命の領域であって、この命が行動し、働き、支配し、統治するためです。それは命がその目的を達成するためです——マタイ 6:13後半. ヨハネ 3:3, 5, 15-16 :

- A. 神の王国は、命の領域としての神の命で構成されている有機体であって、彼が支配するためであり、その中で彼はご自身の命によって王として支配し、神聖な命の中で神聖な三一としてのご自身を表現します—— 5 節. 15:1-8, 16, 26。
- B. 神の王国の中へと入る唯一の道は、神を命として受け入れ、神ご自身を得ることです。これが再生です—— 3:5, 15. I ヨハネ 5:11-12。
- C. 再生を通して、わたしたちは神聖な命、神の命を受けるので、再生は王国の中へと入る唯一の入り口です——ヨハネ 3:3, 5, 15。

#### III. 神から生まれた者たちとして神の王国の中へと入るために、わたしたちは、わたしたちの霊の直覚によって神の直接の支配へと回復される必要があります——マタイ 5:3. I コリント 2:11. マルコ 2:8 :

- A. 罪のない時代において、わたしたちは神の支配の原則を見ます。良心の時代において、わたしたちは自己みら支配の原則を見ます。人の統治の時代において、わたしたちは人の支配の原則を見ます：
  - 1. 墮落の前、人は神によって直接支配されていました。人は神の御前で生活し、神に対して責任がありました——創 2:16-17。
  - 2. アダムをエデンの園から追放した時からノアが箱船から離れた時まで、神は人の内側で良心を立てて、人を支配することにおいてご自身を代理させました——使徒 24:16。
  - 3. 洪水の後、人が神の支配にも、自己の支配にも服従していなかったので、神

は人に権威を与えて、人を支配することにおいてご自身を代理させました——創 9:6. ローマ 13:1。

- B. 統治の観点から、人の墮落は神の支配から自己の支配への墮落であり、それから自己の支配から人の支配への墮落です。
- C. 人が神の支配から人の支配へと墮落したので、神は人を救うことにおいて、人を人の支配から神聖な支配へと回復しなければなりません。それはもう一度、人が純真さの中で、神の直接の支配の下で、神の御前に生きるためです——マタイ 5:3, 8. 6:33。
- D. 神が人を回復するご計画において、人は人の支配からその間にある自己の支配を経過して、神の支配へと自分の歩みをたどらなければなりません。
- E. 良心を対処する最終目標は、単にわたしたちを自己の支配へと回復ことだけではなく、わたしたちを神の支配へと戻して、わたしたちを神ご自身へと回復することであり、こうして神の臨在の中に生きることです—— 5:3。
- F. 自己の支配と神の支配の間には大きな違いがあります：

- 1. 自己の支配は、わたしたちが自分の良心の感覚によって生き、わたしたちの良心に対して責任を持つことを意味します——使徒 24:16。

- 2. 神の支配は、わたしたちがわたしたちの霊の直覚、直覚に対して責任を持つこと、すなわち、神に対して責任を持つことによって生きingことを意味します：

- a. わたしたちの霊の中には物事を直接感じ、認識し、識別し、理解する機能があります。これがわたしたちの霊の中にある直覚です—— I コリント 2:11. マルコ 2:8：

- (1) 直覚は神の直接の感覚であり、神の直接の認識です。

- (2) わたしたちの霊の中にある直覚は、神の感覚です。またそれは神からのもの、その霊からのもの、命のものだけを受け入れます——ローマ 8:2

- b. わたしたちは直覚によって生き、直覚によって管理されるとき、神の臨在の中に生き、神によって直接支配されます。

#### IV. わたしたちは神の支配の下にいるとき、命の感覚にしたがって、わたしたちの霊の直覚によって生きます——6節：

- A. 神聖な命は最高の命であり、最も豊富で、最も強い、最も鋭い感覚を伴っています(エペソ 4:18)。この感覚が命の感覚です。

- B. 命の感覚は、わたしたちが天然の命の中に生きているか、神聖な命の中に生きているかを、またわたしたちが肉の中に生きているか、その霊の中に生きているかをわたしたちに知らせます——ローマ 8:6。

- C. 命の感覚はわたしたちを導き、支配し、管理し、方向づけます—— 4 節。

- D. わたしたちが命の感覚によって神の王国の実際の中に生きるとき、平安、安息、力、満足、解放、活発さ、輝き、水注ぎ、慰めの感覚があります—— 6 節。

- E. わたしたちの霊の中にある神聖な命は、神の王国を知っています——ヨハネ 3:3, 5-6, 15。

F. 神の王国にはその実際があり、この実際は神の直接の支配の下で神聖な命を生  
きることです——マタイ 5:3, 8, 20. 6:33. 7:21。

© 2015 *Living Stream Ministry*